

「山口県は工業県」とよく言われますが、これにはもちろん数字の裏付けがあります。県経済のありようを調べる場合、また、他県との比較を行う場合にはそのためのツールが必要ですが、県民経済計算を使えば簡単です。県民経済計算は、いわば、県経済の全体像を表す”県経済のものさし”とも言えるものです。

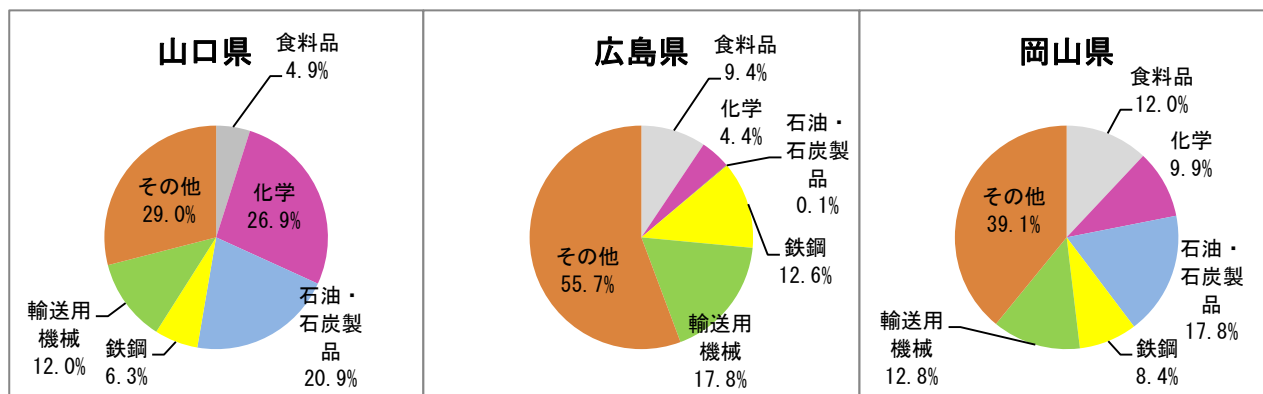
今回は、山口県の総生産の3割を占める製造業について、中国5県で山口県と同じく製造業の占める割合が大きい広島県、岡山県と比較してみましょう。ちなみに、県民経済計算では製造業を「食料品」「化学」「石油・石炭製品」「鉄鋼」「輸送用機械」など14項目に分類して推計しています。

まず山口県ですが、「化学」の割合が最大で、以下、「石油・石炭製品」、「輸送用機械」と続きます。次に広島県ですが、昔から造船業や自動車産業が盛んなため、「輸送用機械」の占める割合が最大となっています。水島コンビナートに国内最大の製油所がある岡山県は「石油・石炭製品」の割合が最大です。

このように3県の製造業を比較しただけでも、それぞれの特色がよくわかります。

県民経済計算は、県内の経済活動の成果を、生産・分配・支出の三面にわたって、総合的、体系的に把握できるよう推計したもので、県経済の規模、成長率、産業構造など、まとめてひとつの統計にしています。内閣府や各都道府県のホームページに掲載されていますので、ぜひ一度ご覧下さい。

【中国3県製造業の比較】（製造業を100とした場合）



出典：各県平成25年度県民経済計算

※平成25年度県内総生産額(名目)は、山口県5兆7,789億円、広島県10兆8,429億円、岡山県7兆2,734億円

※平成25年度製造業の生産額は、山口県1兆7,959億円、広島県2兆4,160億円、岡山県1兆9,514億円